国道7号 朝日温海道路 日本海沿岸東北自動車道

朝日温海道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する道路として、災害時における緊急輸送と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次緊急医療施設へのアクセス改善、日本海側拠点間の交流･連携強化などの効果が期待されます。

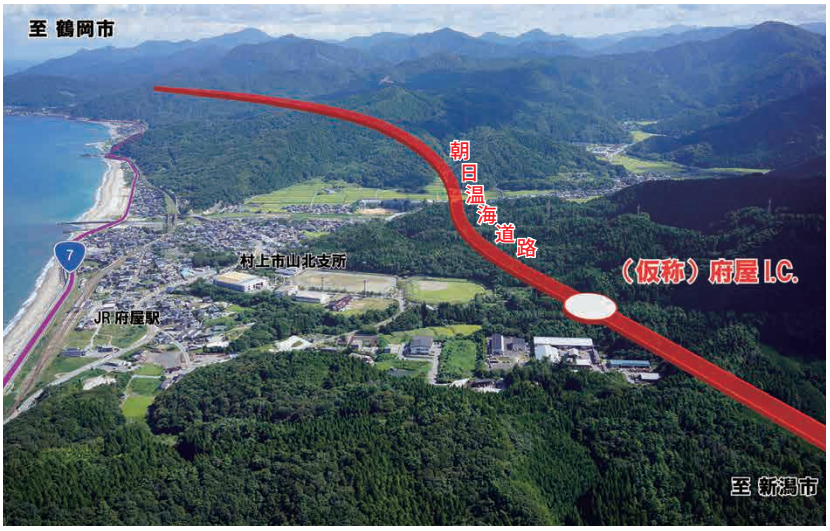
起点･終点	新潟県村上市川端～山形県鶴岡市大岩川
延長	40.8km
幅員	土工部:13.5m トンネル部:12.0m 橋梁部:12.0m
構造規格	第1種第3級、設計速度80km/h

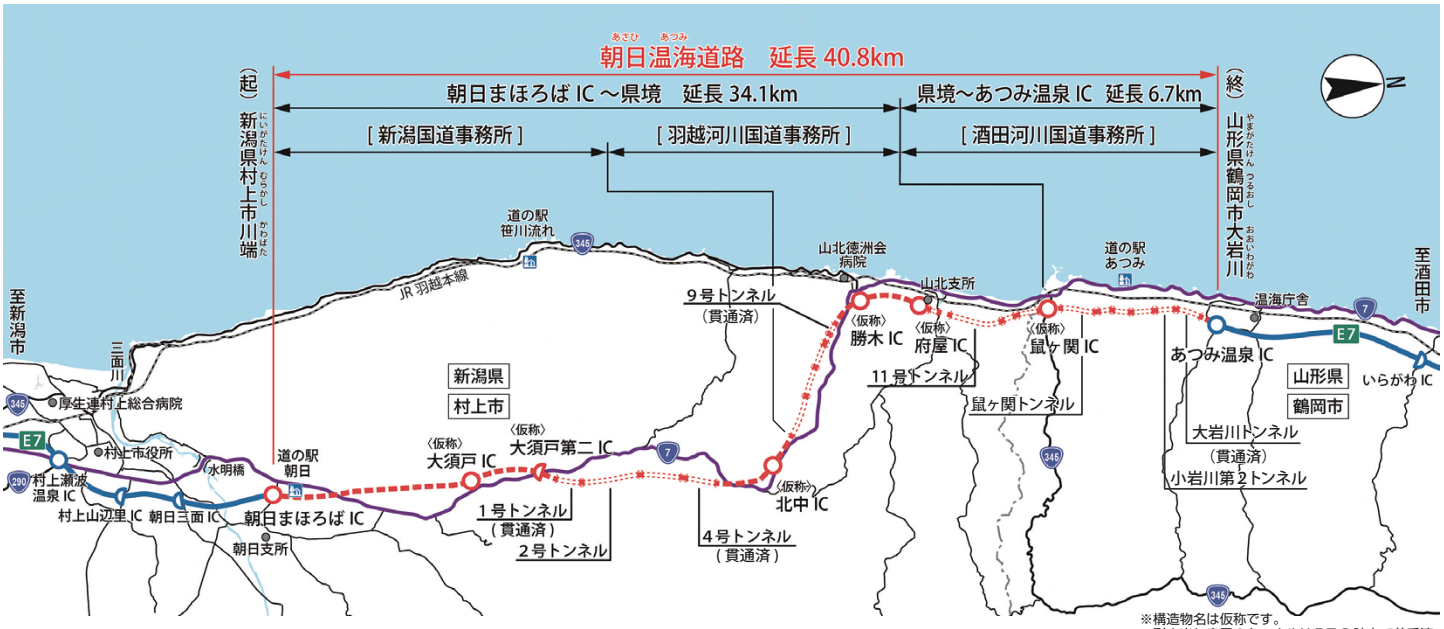
【事業の進捗】

平成25年度　事業化
平成27年度　用地着手
平成29年度　工事着手
令和6年度　(仮称)9号トンネル貫通（羽越区間初のトンネル貫通）

(仮称)大川橋下部工
（令和6年12月）

(仮称)9号トンネル貫通
（令和6年5月）





期待される整備効果

走行性や時間信頼性の向上

山間部のカーブや勾配の変化が少なく、幅の広い道路になると、市街地への通勤や買物など、毎日の運転が快適になります。

冬季の国道7号（蒲萄地区）

観光･地域産業の活性化

高速道路ネットワークの形成によって観光周遊の選択肢が広がり、地域産業にとっては活性化の機会となります。

観光周遊のさらなる拠点化が期待される道の駅「朝日」朝日みどりの里

災害に強い道路ネットワークの形成

国道7号の代替路となり、大雨や越波等の災害による通行止めリスクが解消され、災害や雪に強い安定した輸送ルートが確保されます。

国道7号道路冠水（蒲萄地区）

国道7号越波状況（府屋地区）